

平成22年度特別会計事業予算

(単位:千円)

歳 入				歳 出			
	本年度 予算額	前年度 比率	備 考		本年度 予算額	前年度 比率	備 考
国民健康保険事業	2,361,238	0.99	国民健康保険税・国県支出金	国民健康保険事業	2,361,238	0.99	保険給付費・拠出金
老人保健事業	110	0.02	後期高齢者制度へ移行による減	老人保健事業	110	0.02	医療諸費未請求分
漁業集落排水事業	27,280	0.31	使用料・繰入金・町債	漁業集落排水事業	27,280	0.31	公債費(借入金償還)
営農飲雑用水事業	9,525	1.21	使用料・繰入金	営農飲雑用水事業	9,525	1.21	維持管理費・公債費
下水道事業	134,967	0.35	使用料・国庫支出金・繰入金	下水道事業	134,967	0.35	委託費・工事請負費
介護認定審査会	4,450	1.00	繰入金	介護認定審査会	4,450	1.00	委員報酬・事務費
介護保険事業	1,200,061	1.00	保険料・国庫支出金・繰入金	介護保険事業	1,200,061	1.00	保険給付費・地域支援事業費
後期高齢者医療	147,972	1.19	保険料・繰入金	後期高齢者医療	147,972	1.19	広域連合納付金
合 計	3,885,603			合 計	3,885,603		
水道事業(事業収益)	376,412	0.95	使用料	水道事業(事業費用)	311,806	0.94	原水費・修繕・工事費

地域活動交付金585万円を減額修正

修正案提案理由

提出者 山下 壽利
江 藤 和 利

平成22年度一般会計予算の中の公民館費、地域活動交付金は、文教厚生常任委員会で慎重に審議された結果、振興班未加入世帯解消につながるのか？次年度にも継続していく計画なのか？目的構想が明確でない。議会の採決前に、交付するかのように説明している事はいかがなものかなど、その提案に対して強い意見が出された。今一度、目的、構想を明確にし、審議で出された疑問点をきちんと説明できる形で再提案をしていただきたいと思う。よって、一般会計予算から、地域活動交付金を財政調整基金に戻す修正案を提案する。

修正案に賛成

米 山 知 子

今回提案された地域活動交付金585万円は、分館に入っている振興班に交付するというだけで、どのようにしたら、地域の活動が活発になるのかといった、目的、構想が明確ではない。さらに、分館に入っていない振興班35振興班(575世帯)と振興班未加入世帯(1900世帯)は交付の対象にならないという不公平さも含んでいる。地域活動を活発にし、地域のつながりを深める事は大切なことであるので、このような世帯を含めて、本当の地域活動につながるような内容を再度検討し、提案していただきたいと思う。

条 例 改 正

- 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について
- 川南町議会議員の定数条例の一部改正について

議員定数を2名減、町議会議員は13名になる。

この条例は平成22年4月1日から施行し、この条例の施行以後、初めてその期日を告示される一般選挙から適用する。(詳細はP5、特別委員会報告参照)